

＜新型コロナウイルス感染症対策としての保育運営上の工夫について＞（第5報）

※職員同士の食事・休憩・歯磨き等でマスクを外す際の感染予防対策についても徹底しましょう。（換気・パーティションの使用・会話を控える・手洗い・消毒）

保育場面	留意事項
登降園 健康チェックカード ★一部追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎は必要最低限の人数で行って頂くようにする。園舎に入る時と出る時にアルコールで手指消毒をして頂く。</li> <li>・効果的なアルコール手指消毒方法（1回500円玉程度の量を手に取り15秒～30秒間良く擦り込む）について、手順を表したイラスト等をアルコールの側に掲示する。</li> <li>・健康チェックカードに目を通し、健康であることを確認した上で受け入れる。</li> </ul>
手洗い ★表記変更  消 毒	<p align="center">＜手洗いのタイミング＞</p> <p>① 外から園内に入る時 ②咳やくしゃみ、鼻をかんだ後 ③食事の前後 ④清掃の後 ⑤排泄の後 ⑥共有の物・玩具を使用した後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめに石鹸での手洗いを行う。</li> <li>・特に複数の人が触れる場所は、こまめに消毒する。 （テーブル、椅子、ドア開閉時に触れる場所、電気のスイッチ、手すり、蛇口、トイレのレバー、共有玩具、電話機、パソコンのキーボード等）</li> <li>・消毒液を用いた消毒が困難な場合（絵本など）は、日光消毒を行う。</li> </ul>
マスク 着用の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、基本的に常時マスクを着用する。</li> <li>・子どもや他職員と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、適宜マスクをはずし休息することも可。（特に夏期は熱中症のリスクを考慮し室内でも休息が必要。）</li> <li>・マスク着用時の強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給することを心掛ける。</li> <li>・マスクをはずす際には紐部分を持ち、表面に触れないよう気を付ける。処分する際には蓋つきのごみ箱かビニール袋に密閉して捨てる。マスクの交換ができない時のつけ外しの際には、専用置場か専用の入れ物を使用すること。</li> </ul>
換 気 ★表記変更	<p align="center">＜換気の方法＞</p> <p>① 常時換気     ：複数の窓を10cm～20cm程度、常にかける。対角の窓を開け、入口は小さく、出口を大きく開けて、空気の流れを作ると効率的。</p> <p>② 常時換気が難しい場合：30分間に1回以上、数分間、窓を全開にする。 換気扇を使用すると効率的。ロスナイ換気を併用する。</p> <p>③ 窓のない部屋：常時出入口を開け、サーキュレーター等を出入口の傍に外向きに置き、中の空気を外へ送り出し循環させる。</p> <p>④ 冬 季         ：暖房で部屋を暖めてから換気を開始する。 2段階換気※で気温・湿度の変化を抑える。 （※隣の部屋や廊下の新鮮な空気を少し温めておいてから取り込む方法）</p> <p>◇冬季のポイントとして湿度40～60%・室温18～22度を保てるようにする。 ◇冬季は換気により、室温低下による健康被害が生じないよう、保温・防寒目的の衣服の着用について留意する。</p>
合同保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝夕の合同保育や延長保育、土曜保育など、異年齢児が合同で過ごすことに関しては、人数に留意し密集を防ぐ。職員体制が可能であれば、部屋を分けて保育を行う。</li> </ul>
着替え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着替え時は、ロッカーの前や机などに密集したり子ども同士が衣服やタオルを取り違えることがないように、室内を広く使い子ども達が分散して着替えられるように工夫する。</li> </ul>

水遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑さ指数を確認して実施の可否を判断する。日陰を作るなどの環境整備をして行う。</li> <li>・タライに溜める水は、プーラックスで塩素調整し水質検査をして使用する。 (プール用に使用していた様式を使用し記録する。残留塩素濃度 0.4~1.0 mg/ℓ)</li> <li>・タライの水の中に園児が入ることがないように配慮する。</li> <li>・職員は可能な範囲でマスクを着用する。無理はせず職員の熱中症予防にも留意する。</li> <li>・1つのタライへの子どもの密集を防ぐ為、タライを多めに設定する。</li> <li>・タライとタライの間隔を2m程度開ける。</li> <li>・人数が多い、場所が狭い等、各園での事情がある場合は、状況に応じて工夫する。 (少人数で入れ替える・クラスごとに曜日を決める等)</li> <li>・タオルの使い回しはせず、個別タオルの使用を厳守する。</li> <li>・シャワーや着替え場所の密集を避ける為、園児の動線と距離を見計らいながらシャワー対応の速度を調整する。</li> </ul>
給食  ★一部追記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児及び職員共に、手洗いを徹底し、念入りに行う。</li> <li>・出来るだけ対面での食事にならないよう環境設定を工夫する。大声での会話を控える。</li> <li>・食事用パーテーション等を利用して飛沫を防ぐ。</li> <li>・食前、食後共にテーブルを拭く際には、プーラックスまたはアルコール消毒する。</li> <li>・職員が配膳を行う。お盆を活用して時間短縮や負担軽減を図る。</li> <li>・当番やお手伝い等、自分の分であっても子どもによる配膳は中止する。</li> </ul> <p>＜職員は子どもと一緒に食事をとらない。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ず子どもと一緒に食事をとる際は、1m以上距離をとり、大人の座高の高さのパーテーションを使用。会話を控える。</li> <li>・パーテーションの使用が困難な場合は2m以上離れて別テーブルで食事をとる。</li> <li>・パーテーションの代わりにフェイスシールド等を使用する場合は、1m以上離れ一時的な使用とする。フェイスシールドの縁をくるむ等の怪我防止に留意する。</li> <li>・途中で子どもの介助等を行う際には、必ず着用し手指消毒したうえで対応する。</li> </ul>
歯磨き ★一部追記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯磨き、ぶくぶくうがいを行う場合は、蛇口を一つ飛ばして使用する・子どもが分散するように誘導する・出来るだけ下の方で水を吐き出す等、飛沫防止対策をする。</li> <li>・対策が実施できない場合は、歯磨きを中止する。</li> </ul>
午睡 ★一部変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団と布団の間隔をできるだけ開け、頭と頭が近づかないように、寝る方向に留意する。</li> <li>・午睡時間前に先にエアコン等を使用して適温にしておき、午睡開始後は常時換気もしくは30分間に1回以上の換気をする。ロスナイ換気があるれば併用し適温に配慮する。</li> </ul>
行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面談、保育参観、保育参加などは、各園の状況や必要性に応じて検討する。実施する場合は、マスク着用・検温・手指消毒・密回避・換気など、十分な感染症対策を行う。</li> <li>・運動会・生活発表会・卒園式などの保護者の参加を伴う行事を実施する場合は、対象者の限定及び把握・時間短縮など規模の縮小を行うと共に、感染予防対策の徹底を行う。</li> <li>・園内の行事については、室内での園全体の集会形式は避け、クラス毎に行うなどする。</li> <li>・バス遠足を実施する場合はバス内換気に留意し、行き先での密回避や不特定多数の人との接触を防止する他、感染症対策を徹底する。</li> <li>・散歩に出掛ける場合は、手つなぎの前後・トイレの使用後に、手洗いまたはアルコール消毒を行う。熱中症リスクの高い日は避け、散歩先等での不特定多数との接触を防止する。</li> </ul>
外部からの人の立ち入り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士をはじめ事務職や送迎を行う職員等を含めた全ての職員・ボランティア・実習学生等を含め、全ての人の立ち入りについては、発熱や呼吸器症状の有無について検温と健康観察を行う。</li> <li>・委託業者等についても、物品の受け渡し等は玄関など施設の限られた場所で行い、施設に立ち入る場合は体温を計測してもらい、発熱等が認められる場合は立ち入りを断る。</li> </ul>